

# 神樹の会会報

No. 48

平成 11 年 7 月 15 日

発行所：神樹の会

発行人：宮脇 テル子

本部事務所 (六甲作業支援センター内) ☎821-1533  
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

明芳デイサービス ☎735-8835  
〒654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4

たおじ作業所 ☎987-2532  
〒651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689

ゆめの作業所 ☎578-3539  
〒652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10

福祉の店「いたやど」 ☎733-2477  
〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12

六甲作業支援センター ☎821-1533  
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

垂水作業支援センター ☎782-9675  
〒655-0006 神戸市垂水区本多町7-2-3

平成十一年度神樹の会総会が去る六月六日午後一時三十分より、神戸市勤労会館にて八名のご来賓の出席を得て開催されました。各報告事項、新年度役員改選の後、有意義な意見交換の時間をもち、盛会のうちに終了いたしました。各氏よりいただいた要点をご紹介します。

## 第28回 総会

みづめあり目  
ささえありま  
かよいあり心

神樹の会  
結

### サービスの質の向上を目指して

神戸市保健福祉局障害福祉部部長 藤井 良三

障害者をはじめ全ての人が尊厳を持って、その人らしい自立した生活が送れるよう、厚生省では社会福祉基礎構造改革をすすめています。例えば、措置制度から利用制度へと変革され、利用者が自由に施設を選択できるよう、またそれぞれのサービスの質的向上が求められます。

神戸市でも、意思能力が十分でない人の権利を守り安心できる暮らしを支援する「こころ安心サポート相談所」を開設しました。また七月には、障害者施設の製作用品を展示・発売する場として「神戸ふれあい工房」を神戸ハーバーランドに開設します。その他、昨年度開設しました西部在宅障害者福祉センターに続いて、各種福祉施設を順次整備し、「障害者保健福祉計画」の達成に努めてまいります。最後に、来年度から介護保険がスタートいたしますが、是非「出前トーク」を活用し、介護保険を皆さんで勉強していただくようお願いいたします。

### 「自立活動」の教育課題に向けて

神戸市立友生養護学校長 田中 等

学校現場において二〇〇二年の学校五日制に向けて指導要領が改正された。「養護・訓練」という名称が「自立活動」と変わり、「総合学習の時間」が創設される。個に応じた指導の工夫改善を一層進め、軽度の子の教育活動をいかに進めるかなどこれから取り組まねばならぬ問題・課題が一杯ある。現在の両校の共通課題として

- ① 医療的ケアに対する対応(マニュアルがほぼ完成)
- ② 進路の確保
- ③ 高等部訪問教育の充実

などがあげられる。今後とも課題解決のためにも、深いご理解と温かいご支援をお願いします。

### 地域で当たり前の人として生きていくサポートを

神樹の会会長 宮脇 テル子

来年四月には介護保険の導入、社会福祉基礎構造改革など、近年、社会福祉の情勢は大きく変わりつつある。措置制度から契約選択へと変わるといふこと。供給側からの解釈でなされた福祉形態が利用者本意でサービスがなされるようになる。この流れの中で重度障害者の方々、普通の人と同じように当たり前のひととして地域で生きていくために環境づくりやサービスの充実に向けて進めていきたい。親としての発想と賛助の先生方の意見をいただきながらバランスのとれた会として歩んでいきたい。

## 第28回 神樹の会定例総会



### 重点目標

1. 会員相互の絆を強め、共に生きる輪を広げよう
2. 身体障害児(者)の地域社会への参加と交流
  - ① 事業の確保・拡充
  - ② 療養施設の早期実現
  - ③ 重症心身障害児(者)施設の建設促進
3. バザー活動の発展と充実

### 福祉の充実を...

神戸市議会議員 加納 花枝

高齢者福祉も障害者福祉も別にして取り組むのではなく、誰もが安心して暮らせるような町、すべての人が神戸に住んでよかったといえる町にしたいと思っています。

会員総数	830
出席者	67
委任状	529
計	596

### 意見交換

総会において左記のような意見をいただきました。

- ・ワークホーム明友様
- ・友生養護学校様
- ・垂水養護学校様
- ・友生PTA様
- ・県肢体不自由児協会様
- ・高内恒夫様

平成十一年四月及び六月に、次の方々より尊いご寄付をいただきました。

♡ 感謝 ♡

\* 機械浴は設備がたいへんで、入浴前の検診をする看護婦さんの常駐があるのでサービスはむしろかしいと思う。  
\* アンケートにもあるように、療養施設の建設を第一に考えるべきではないか。

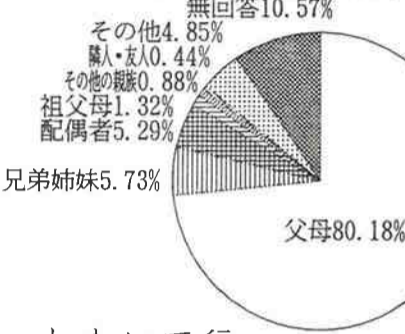
\* 垂水作業支援センターの予算を見ると事業費が少ないように思う。作業型デイサービスになったので、利用生にはいろいろな経験をさせてやりたい。  
\* 療養施設建設について、具体的な動きはどうか。法人化しないか。イサービスが作れないのであれば、神樹の会としてどんな対策を考えているのか。  
\* 能力に応じた進路の開発が必要ではないか。  
\* 卒業後の受け皿がたくさんあればイサービスを必要としている人が行ける。行政のすき間を埋めるサービス(お風呂サービス、ショートステイ等)を行えば...  
\* 大阪南港で毎年四月に福祉機器の見本市が開かれているので見学に行ってみようか。  
\* 現状では(法人でない)デイサービスは作れないので何か他の方法を考えていかないといいけない。  
\* お風呂サービスは、できてもすぐに希望者で満員となり順番待ちで利用できない。地域のお風呂屋さんを利用させていただいてボランティアにお願いして...という方法もある。  
\* 障害者全般のネットワークが必要。区ごとに在宅の実態を知れば、もっときめ細かいサービスができると思う。  
\* 機械浴は設備がたいへんで、入浴前の検診をする看護婦さんの常駐があるのでサービスはむしろかしいと思う。  
\* アンケートにもあるように、療養施設の建設を第一に考えるべきではないか。

# 母はアツク長持ち

配布数 397  
回答数 227



Q. 主に介助をなさっている方は？



Q. 生活介助は？

ア. 必要	135	59.47%
イ. 部分的に必要	60	26.43%
ウ. 必要でない	21	9.25%
無回答	11	4.85%
計	227	100.00%

生活介助は全介助・部分介助合わせて、すなわち何らかの形で介助を必要としている人が八五%にも上っている。その介助を担っているのは、円グラフに示しているようにほとんどが父母である。障害児者を介助・介護するのは、実態は母親の腕にかかっているのである。この介助者である父母も高齢となり、体力の低下、入院手術加療など父母自身にいろいろ不安要素が増えてきている。「いつまでも丈夫で長持ちよ」と誇っている母親も、気がかりなことが増えてきているし、七十才も過ぎると親自身にも介助が必要になってきている。

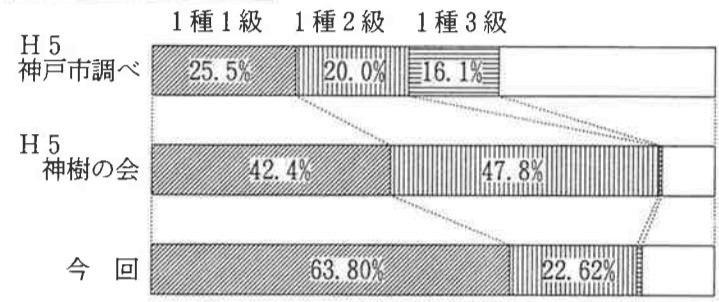
### 家族介護の限界は？

### 私の趣味

私は垂水作業支援センターへ垂水駅から行っていきます。清水が丘行ききのバスに乗って清水が丘一丁目まで降りて、歩いて行っています。初めはあの坂道は手すりも信号機もなかった。今は手すりも信号機もできました。私の好きなことは、東京デイズ二ラン

中島 弘江

Q. 身体障害者手帳は？ (障害の程度は) 何種何級ですか？



帯グラフに表れているように一種一級の障害者手帳のある方々が、平成五年の調査の結果よりも多くなってきている。同じ年に神戸市で行った実態調査と比べるといづれも神樹の会独自の調査の方が重度障害者が多い。

Q. 介助をしている方が、過去1年間に病气・けがで医療機関で治療を

①まったく受けなかった (必要がなかった)	33.04%
②受けたかったが受けられなかった (がまんした)	5.29%
③月に1回ぐらい受けた	28.19%
④週に1回ぐらい受けた	8.37%
⑤月に5~6回以上受けた	6.61%
⑥その他	0.44%
無回答	18.06%

Q. 介護をなさっている方は今、障害のある方に関して気がかりというか不安を感じていらっしゃいますか。

	非常に気になる	気になる	あまり気にならない	ほとんど気にならない	無回答
①親の亡きあと	71.37%	11.89%	0.44%	2.20%	14.10%
②病気になること	59.47	18.06	0.44	1.76	20.26
③就職のこと	11.45	7.05	8.37	32.16	40.97
④結婚について	9.25	5.73	8.81	36.12	40.09
⑤孤独な生活	36.12	16.74	4.85	9.25	33.04
⑥卒業後の生活	28.19	12.78	3.96	7.93	47.14

### 何が気がかりなのか (アンケートの回答より)

- ☆施設へ納得して行ってくれぬか。
- ☆みんなと仲良く生活できるか。
- ☆両親亡き後のこと。
- ☆特に母親が病気になる時。
- ☆自立できない。
- ☆施設で介護してもらえないのか？
- ☆卒業後の生活。
- ☆両親が高齢になり、介護できなくなった時。
- ☆介護が永遠に続くかと思うとノイローゼになりそう。
- ☆重症心身障害者施設がほしい。
- ☆就職、結婚のこと。
- ☆通所施設が居住区にないこと。
- ☆施設に利用できるか。(特に階段の上げ下ろし)
- ☆現在でも介護できにくい。(特に階段の上げ下ろし)

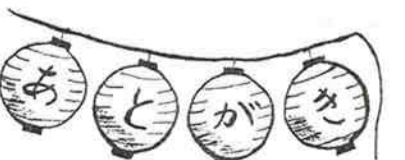
### 新役員紹介

顧問	水野 整一	田中 等	事務局長	小野 治子	西村 洋子
相談役	本田 梅雄	池田 龍稔	庶務	北脇 貞子	中野 紀子
会長	石川 恒夫	山田 福松	幹事	前川登美子	
名誉会長	高内 隼彦	増田 龍昭			
副会長	望月 秀雄	池田 龍昭			
谷野 一夫	宮脇 一夫	堀川 静子			
西原 孚子	高井 由雄	北郷 賢治			
伊藤 照子	原田 実敬	東郷 允美			
小泉 敬子	矢野 幸子	濱川 允美			
大橋 敬子	池田 恵子	山田 福松			
松岡 幸代	松本 保子	中川 広師			
谷口 幸子	泉 伸一	佐伯 幸子			
高木 恵子	矢野 幸子	米沢 登美子			
植田 洋子	松本 保子	百道 泰子			
黒田素美子	松本 保子	金澤 葉子			
根岸 初美	松本 保子	猪俣 八重子			
	松本 保子	黒田 智子			
	松本 保子	岡本 八重子			
	松本 保子	浜野 明子			
	松本 保子	中山 富子			
	松本 保子	市野 富貴			
	松本 保子	八幡 美恵			
	松本 保子	引野 洋一			
	松本 保子	松岡 早苗			
	松本 保子	宮野 忠男			
	松本 保子	清水 和代			
	松本 保子	辻野 富貴			
	松本 保子	堀之内 広美			
	松本 保子	西原 孚子			
	松本 保子	吉岡 佑起子			
	松本 保子	伊藤 弘海			
	松本 保子	西垣 幸夫			
	松本 保子	土居美千代			
	松本 保子	山内 妙子			

### 計報

平成十年十一月より平成十一年六月までに次の会員の方々が亡くなられました。心よりお悔やみ申し上げます。

- 田原 貢様 (昭和五十五年度卒)
- 米田直樹様 (垂水養護学校 幼稚部)
- 田原裕さんの父親



いよいよ夏本番になって参りました。会報四十八号をお届けいたします。今号からアンケート結果より特集を組むことになりました。ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。

日高 矢野 小野 大住 山内  
肝陌 福田 林 山下 宮脇

このたび二回目のアンケート調査を行いました。その結果、重度重複の方々が多くなってきています。そして日常生活の介助をおもに母親が全面介助していることなどの結果が出ました。今回はその一部をパート1としてお知らせいたします。またパート2、パート3は引き続き次号に載せる予定にしております。